

勝ってくるぞと勇ましく！高みの見物でよいのか。
幻想に幻惑されるな。

1. アルコール依存症、薬物依存症に苦しむ人々の哀しみ、苦しみを思うとき、依存症の解決の第一歩は断酒と断薬だ。NO WARの第一歩は断戦、臆せず表現したい。NO WARと。
2. 攻勢と反攻のたびに、情報に一喜一憂する地球人を実感。情報カプセルから抜け出せない地球人。いずれにせよ死対死でしか決められない。勝敗を決めてどうなるのか。双子のきょうだいで「お前のかあさん出べそ」と罵り合う風景にさも似たり。

3. Youtubeで見る戦況は、客観的にみると劣勢の者への判官贖戻ではないか。私たちは半面しか見ていない。ウクライナ側からの反攻にロシア兵士の痛みを想像できるか。ロシアが経済的な締め付けを受けているのはどうか。Swift「国際銀行間金融通信協会」除外、ルーブル相場下落に耐え、マクドナルドの代用品復活はどうか。経済的制裁とは何だろうか。公平に戦況を見ているか。かかわる人々すべてに思いをはせているか。
4. 戦闘の中、殺戮で奪い取った自由と領地が真の自由な楽園なのだろうか。覚せい剤や薬物で得られた症状と同等の実体のない幻想の自由と呼べるだろう。

生活している市民の視点で

5. 収穫しても農場は戦場と化し、せっかくの収穫も必要としている人に届かない。生産した世界中の食べ物の穀物が滞留した結果は世界の地球人の食料の危機である。世界は飢餓の時代に瀕している。悲しみの実態とは、孤独（さみしさ）、空腹（ひもじさ）、尊厳喪失（汚物まみれ）の状態。さて世界の痛みと悲しみはどのように癒されるのか。
6. 戦場にいる高齢者、障害者、幼少未成年者、性的マイノリティの人々、市民はどのように生き延びているのか。福祉支援の必要な人は多いはず。環境が変わることでの心理的精神的不安定をどうしのぐのか。パニックを起こしている福祉利用者に支援者はどう工夫しているのだろうか。福祉に身を置いたものにとって、現実に思いをはせれば悲しい。

7. あの地下工場で閉じ込められた人々に、人としての尊厳はあったのだろうか。沖縄、南風原の陸軍病院壕の一部や伊原第三外科壕での悲劇の再現ではないか。命の安全はもとより、地下壕でのひもじさ、排せつ物や生理の処理、睡眠はどうしたのか。水、凍え、更衣はできたのか。人としての最低限の尊厳を思えば悲しい。昔、地震で被災した人が復興の時、水と希望が原動力となったという逸話があった。地下に閉じこめられた人々の水と希望とは何だったのだろうか。愛の反対語は、無関心である。希望の反対語は失望とあきらめなのか。水と希望が途切れ、どうやって復活の原動力になるのだろうか。情報カプセルから抜け出せない地球人はこの状況に無関心ではおられないはずだ。

悲しみの根源

8. あの領土はわが国固有のものだったというのは誰が決めたのやら。地政学という地球ならではの領土争い。やがて地球を抜け出して月や火星に移住したらどのような地政学が成立するのやら。健康に気をつける人に言わせると、川の向こう側の作物は体に合わないから食ってはならぬという昔の篤農家の言葉がある。
9. 世界、地球人の哀しみ。人と人の戦いをしてしまった喪失感を考えると、政治的慣性、失意。あきらめがあり。今まで置かれた状況が、ある時変わると物理的慣性より心理的慣性で衝撃的な打撃をうける。

10. 悲しみのハウリングが起きているはず。ドミノ倒しとは違う悪のスパイラルはどこで止められるのだろうか。人は信じることを生きる糧としている。電車もバスも予定通りに来ると信じるから待っていられる。事故なく脱線しないと信じているから乗車している。略奪が起きないと信じているからを経営できている。これが裏切られたらどうだろうか瞬時にパニックが起きる。他人が自分に銃口を向けて発砲しない。戦争は起きないと信じていたのに。信じていたことから全く裏切られた。どんな悲しみより深いのは言うまでもない。失望の実態だ。
11. 勝つとは、負けとは。いずれにせよ死の数の比較。殺戮数の比較に過ぎない。殺した数の多さが勝ちなのか。1000人殺した味方の兵士は英雄で、999人殺した敵の兵士は悪役なのか。いずれにせよ殺人の実行犯である。殺されたから逆に殺す。命を奪われた悲しみをいやすために他者の命を奪う。それで悲しみは癒えるのか。
12. 選挙で勝った方が勝ちなのか。選挙がその意味を持つのかは疑わしい。世界に誇る日本国憲法。10,000,000票の票を獲得したら世界に平和が訪れるのか。逆に対立候補が9,999,999票で負けだったら平和ではなくなるのだろうか。どの状況下であっても戦争はしないと規定したのが日本国憲法だと信じている。